

「ウィンドウズXP」サポート終了への対応

POINT 自社のデータ流出以上に、取引先への不正アクセス等に留意
ハード面とソフト面に分けてPCの買い替えを検討

いまだ自社のPCはサポート切れしたウィンドウズXPです。

このままXPを利用して大丈夫でしょうか？

万一の時、被害は取引先にまで？

ご存知のように、マイクロソフトの提供する「Windows XP(2001年提供開始)」「Office 2003」「Internet Explorer」の3製品のサポートが4月9日で終了しました。マイクロソフトによれば、IT活用のプラットフォームが大きく変化・進化したこと、また、PCのライフサイクル5年を2巡したという2点が、サポート終了のおもな理由でした。

サポート終了とは、セキュリティ更新プログラムが提供されなくなることで、その結果、セキュリティに問題があっても修正されなくなり、悪意を持ったプログラムのウエアと呼ばれる悪意を持ったプログラムの「新しい手口の攻撃」に対する弱点が放置されてしまい、PCへの不正な侵入やデータ流出などの被害が生じる恐れがあります。また、導入しているウイルス対策ソフト・セキュリティ対策ソフトもXP対応の提供を



停止する可能性もあります。しばらくはXP向けの対応が行われたとしても、XPそのものが新たな脅威にさらされていますので、万全ではありません。PCに不正なアクセス・侵入を受けた場合、自社のPCトラブルやデータ流出以上に留意しなければならないのは、PCが知らぬ間に遠隔操作(踏み台に)され、取引先への不正アクセスやデータ流出・Webサイト改ざん等の犯罪に利用される恐れもあるということです。取引そのものが停止とならない事態は避けたいですね。

ネットからの切断などの対策を

ただし、使用していたソフトウェアが急に使えなくなるわけではありません。提供から10年以上、使い慣れたソフトから離れがたく、特にオリジナルソフトの場合は、他のOSで動作確認ができずに、いまだ使用している方もいらっしゃるようです。

このような場合、次の対策が必須です。

- ①最新のセキュリティ更新プログラムの適用
- ②セキュリティ製品(ウイルス対策ソフト・定義ファイル)を最新の状態に
- ③インターネットからの切断
- ④USBメモリ等外部ディスク利用停止

最新のPCに買い替える時の留意点は？

PCを買い替える場合、ハード面とソフト面に分けて、一覧表にまとめ、チェックをしていくといいですね。

ハード面では、現在使用中のプリンターや周辺機器が使えるかどうかのポイントです。ソフト面では、市販のパッケージソフトを使用している場合は、最新バージョンに対応

しているかどうかを確認。またオリジナルの業務ソフトを使用している場合は、構築したソフト開発会社に相談しましょう。

買い替えは業務改革のチャンス

ハード面では、すべてのPCを買い替える代わりに、業務内容に応じて、操作が容易で携帯できるタブレットの導入もあわせて検討するとよいでしょう。また、ソフト面では過去のデータをどう移行(引越)するのか、データ活用を含めて検討することで、業務プロセスの見直しにもつながります。使用しているソフトを購入する代わりに、クラウドサービスの利用(借りる)という選択肢もあります。攻めの経営のチャンスです。

静岡商工会議所では毎月、IT・情報化相談会を開催しています。次回は6月11日(水)13時30分～16時30分。要予約。

回答



中小企業診断士
ITコーディネータ
松本真由美 さん
静岡商工会議所・情報化専門相談員